



発行日 平成30年7月30日
発行所 特定非営利活動法人
フードコミュニティ目黒
理事長 渥美 昭美
〒152-0001
東京都目黒区中央町2-32-5
スマイルプラザ中央町
TEL: 03-5768-0707
FAX: 03-5768-0717
E-mail: okowa@fc-meguro.com
http://www.fc-meguro.jp/

災害時への備え

目黒区健康福祉部長 上田 広美

フードコミュニティ目黒の皆様には、日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解、ご尽力を賜り、心より御礼を申し上げます。

本年6月に発生した大阪北部地震では、支援を必要とする要配慮者の安否確認の課題が明らかとなりました。災害対策基本法が改正され、要支援者の名簿作成が自治体に義務づけられましたが、この名簿の活用ができたのは一部の自治体だけだったということです。

目黒区では、避難行動要支援者の名簿を作成し、区健康福祉計画課・防災課及び地域避難所へ配備しています。また、名簿の提供について同意を得た方を対象として登録者名簿を作成し、消防署・警察署・民生児童委員、協定を結んだ町会等避難支援関係者に配布しています。

今後の要配慮者支援策として、障害種別や障害の状況等に応じた、災害発生時からの個別支援計画の策定が重要と考えています。個別支援計画の策定については、対象者及び作成方法等検討したうえで進めてまいります。

フードコミュニティ目黒のあるスマイルプラザは、災害時には福祉避難所となります。今後、スマイルプラザにおいても防災教室等を実施し、災害時への備えをしてまいります。よろしくご協力のほどお願いいたします。

現在の状況

フードコミュニティ目黒 理事長 渥美 昭美

平成30年7月の集中豪雨では福祉施設など被災された皆様へ謹んでお見舞い申し上げます。

上田部長のご挨拶でもありましたようにフードコミュニティ目黒(FC目黒)のあるスマイルプラザ中央町も福祉避難所となっておりますが、目黒区とともに私達も自助、共助として出来ることをやっていかなければならないと思っています。

6月には東京都にグループホーム建設補助の申請を提出しました。目黒区にご相談をしながら10年後15年後を見据えて知的障害の方が車いすになった場合も考えてトイレ、お風呂、エレベーター、スプリンクラーを入れ、車いす対応の入り口を設けました。

就労継続支援B型事業の平均工賃は今36,000円ですがもう少し頑張っていかなければと思います。就労移行支援事業では平成30年度に入って3名が就労しました。

就労定着支援事業を4月より始めていますが、これは今までもやってきた支援内容を継続する形なので、就労した方々はさらに安心して企業就労が出来るかと思っています。

今後ともFC目黒にご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成30年度の取り組み

フードコミュニティ目黒 施設長 吉塚 晋

30年度が始まり、4ヶ月が過ぎました。

昨年度から始めた障害者支援施設向けオンライン職員研修『サポーターズ・カレッジ』を月一回、今年度も引き続き行っています。聞いたことをもとに、職員間で話し合いを行いFC目黒の運営、支援がレベルアップしていくための意識統一を行っています。7月の研修では職員全員の統一した意思決定を促し、各職員が目標に向かって一丸となって動いていくために会議の進め方が重要だと学びました。会議だけでなく日頃からの職員間の細やかなコミュニケーションも大切にしていきたいと思っています。

FC目黒は、就労継続支援B型事業と就労移行支援事業の多機能事業所ですが、今年度『就労定着支援事業』を加え、スタートしました。

<就労定着支援事業>

今までも就労した人たちの定着支援を就労移行支援事業の中で行ってききましたが、障害者総合支援法の改正により、平成30年4月1日から、『就労定着支援』が障害福祉サービスに位置付けられました。具体的な支援の内容としては

- ◎1ヶ月に一度利用者との対面による面談を行う。
 - ◎1ヶ月に一度以上、可能な限り、必要な場合はそれ以上支援員が職場訪問をして働く様子を見たり、職場の人の話を聞いたりする。
- といったことがあります。

今現在5名の方がこの支援を受けていますが、面談は、仕事が終わってから週に3回程度FC目黒に来る人、毎週金曜日に来る人、月1回来る人、また近くの喫茶店で会う人等、人によってさまざまな形で行っています。加えて家庭との連携調整も欠かせません。企業・支援機関・家庭が主に電話を通して互いに連携していくことも大切にしています。

支援目標や支援の内容・方法については、一人ひとりに合った個別支援計画を作成し、それに基づいて支援することとなっています。それぞれの問題点を出来るだけ早期に気付きそれを解決し、3年以内でしっかり職場に定着出来るよう支援しているところです。

<理事の大南先生にはお世話になりました>

設立当初から、FC目黒理事としてお世話になっておりました特別支援学校校長や全国特別支援教育推進連盟理事長などを歴任されていた大南先生がやむなく理事を退任することとなりました。大南先生には内部研修で専門的な立場から、障害者の特性や支援方法、全国の障害者施設の情報や就労の問題等々、膝を突き合わせて沢山のお話を聞き、教わる事が出来ました。長い間ありがとうございました。

今年度から大南先生に代わり久保栄先生(元学校長)に理事をお願いすることとなりました。

職員一同学びを大切にしながら利用者一人ひとりに向き合い、より質の高い支援を行っていきたいと思います。



FC目黒に来て面談

今年度、3名が就労しました

30年度に入り、移行利用者が4月に1名、7月に2名と合計3名が就労しました。3名それぞれの就労までの頑張りを紹介したいと思います。

◆「企業で働きたい！」の強い思いが通じたTさん ◆

短期間の実習ではなかなか力を発揮できず、次のステップへ進めずにいたTさん。移行支援サービスの利用期限が迫る中、ハローワークで求人を見つけ、企業見学を経て4日間の企業実習を行いました。結果は不採用。しかしながら、企業より「もう少し長い期間の実習の中で採用を見極めたい」と、同企業の別の業務内容で再実習の提案をいただきました。

一度目の実習の結果にとってもショックを受けていたTさんでしたが、「実習をやりたいです。」と伝えてきた時の真剣な表情が印象的でした。これまでの経験から学んだ実習時の約束を改めて確認し、「就職を決めます！」と前向きに臨んだ再実習。本人の頑張りが伝わり、就労につなげることが出来ました。

就労して3ヶ月半が過ぎ、前向きに課題に取り組みながら少しずつ出来ることが増えてきています。

◆自分に合った職場が見つかったNさん ◆

これまでたくさんの実習を経験してきましたが、『働きたい』と思える職場になかなか出会えなかったNさん。移行支援サービスの利用期限が残り3ヶ月間のところで、しごと財団合同面談会の参加企業の中から希望の企業を見つけました。面接をクリアし、『この実習で就職を決める』という意気込みで実習へ。実習先の雰囲気や業務内容が本人に合っていて、『ここで働きたい』という思いが強くなっていくのが感じられました。実習後の採用選考にかなり緊張して臨み、結果を待ちました。採用決定を伝えた時の満面の笑顔！

就労してからもうすぐ1ヶ月が経とうとしていますが、以前よりも落ち着きが増してきているように感じます。生き生きとした表情で「仕事は楽しいです」と話してくれています。

◆苦手なことを乗り越えようと前向きに努力したSさん ◆

『やりがいのある仕事をしたい』と就労を目指して自分の課題に取り組んできたSさん。

しごと財団の合同面談会で、希望の職種で自分に合う条件の企業を見つけ、面接を経て実習につなげました。真剣に実習に臨み、作業能力や明るい人柄は評価された一方で、現場のマッチングが上手いかず、企業から別の店舗での再実習の提案を受けました。『次に絶対に就労につなげたい』と取り組んだ結果、就労につなげることが出来ました。

就労してまだ数週間。新しい環境の中で戸惑うこともあるようですが、一つ一つクリアしていこうと常に前向きな姿勢で努力しています。



厨房での片付け

3人が就労できたのは、それぞれの企業の障害者雇用への熱心で温かい理解があつてのことと深く感謝しています。就労後、皆さんそれぞれが生き生きと安定して働き続けていけるよう、企業との連携を密にしながら6ヶ月間の支援を行い、その後3年間の定着支援につなげていきたいと思ひます。3人の利用者の活躍を心から願っています。

「弁当注文が増えることを願ってポスティングを頑張っています」

FC目黒の自主製品は、日替わり弁当・注文弁当・お赤飯・おこわ・お萩の製造・販売です。

B型の利用者の皆さんは、注文を受けた弁当を銀行や包括センター、住区センター、個人宅等々それぞれ手分けして歩いて配達しています。「今日はどこ?」「いくつ?」「何円だよね?」と確認して出かけていきます。注文がたくさんあると、利用者は生き生きと活動し、うれしい日になります。

今年度は、注文してくださるお客様をもっと増やしたいと考え、歩いて配達できる範囲のポスティングを週一回は行うことを計画しました。雨の日や暑さの厳しい日を除いて、2~4人の利用者と支援員で近隣の住宅をまわっています。安全に気をつけて一軒一軒ポストがどこにあるか注意深く探しチラシを投函しています。回数をこなすごとに段々と慣れていく様です。毎回30分から1時間程度行い、多い日には100枚以上配っています。「お客様から注文がきますように」「工賃がたくさん貰えますように」……との思いで皆さん頑張っています。

その甲斐あってチラシを見て問い合わせの電話やお弁当の注文をしてくださるお客様がありました。さっそくこのことを利用者の皆さんに報告し「ポスティングのおかげだね!」と一緒に喜び合っているところです。

皆さんに喜ばれるおいしいお弁当を製造するために栄養士さんと相談しながら厨房職員も日々努力しています。弁当の配達が増え、挨拶やお金の受け渡しを通して地域の人たちとしっかりつながっていくよう、今後も利用者の皆さんとポスティングを重ねていきたいと思っています。



ポスティングをしています



* イベント・サークル・会議等のお集まりに、ご予算に応じてお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ご注文・お問い合わせ
電話03-5768-0707
(9:00~17:00/土日祝休み)

安心・安全の厳選素材が自慢です!



宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに和洋折衷バラエティ豊か。すべて手作りしております。

白米弁当/550円
赤飯弁当&山菜おこわ弁当/各650円
(宮城県産こがね餅米100%使用)



赤飯
グラムにより300~400円

※価格はすべて内税となっております



山菜おこわ



お萩(5個入り)
400円

(7,8月はお休み)